

「香風」



令和3年
3月1日第13号
発行者
校長 富山拓二郎

重点目標 自分の考えを持ち、主体的に行動し言語で表現できる子ども

「東日本大震災から10年」

13日夜に東北地方を襲った地震は、10年前の「3・11」の記憶を人々によみがえらせた。

震度6強を観測した福島県新地町。一人暮らしの女性(68)は、東日本大震災からの「教訓」を強調する。

2011年の震災時は経験したことのない揺れに焦り、周りの住人に声かけをしないまま高台に逃げた。「あの時みんなで協力できたら、っていう心残りはあった」。今回は、近くのアパートに住む高齢夫婦らと「津波は大丈夫だって」「いつでも逃げられるように着替えておいて」などと呼びかけあった。津波は来なかったが、車に防寒具を積んでいつでも避難できる態勢を整えた。中には高台まで避難した人もいたという。10年前、海の状況を見に行った兄を津波で亡くした。「『絶対安心』ってことはない。日頃からの準備が命を守る」。数日分の食料をそろえ、1階が浸水した時に備えてストーブや貴重品を2階に置いていた。「一つ一つの震災から学んで、小さな備えをしていかないといけない。それが生きている人にできる唯一のことだから」

(2月15日(月)朝日新聞)

そのような中でも我々は与えられた食事を食べて生きていかなければなりません。3月4日の給食で「救給五目ごはん」を防災訓練の一環として食べます。生徒達にはいついかなる時にも冷静に判断し対応できる人に成長してもらいたいです。



GIGAスクールスタート

本年度、生徒全員分のタブレットパソコン(Chromebook)が配置されました。早速、各学年とも教科の調べ学習やレポートの作成、総合的な学習の時間の職業調べや高等学校調べに活用しております。

今後は八女市においても、授業における活用、教科の単元テストや家庭学習にも活用できるように活用方法を広げていく予定にしています。例えば、単元テストはソフトが自動的に採点し、学習データを分析し個人の課題を素早く確認できる素晴らしいシステムが導入されています。生徒の学力の向上にもつながりますし、先生方の成績処理業務の軽減にもつながります。これから、職員研修を通してさらに活用の幅を広げ生徒たちの学力の向上につなげていきます。



使用方法を学ぶ生徒たち



タブレット充電保管庫

『あとから来る者のために』

あとから来る者のために

田畑を耕し

種を用意しておくのだ

山を

川を

海を

きれいにしておくのだ

ああ

あとから来る者のために

苦勞をし

我慢をし

みなそれぞれの力を傾けるのだ

あとからあとから続いてくる

あの可愛い者たちのために

みなそれぞれ自分のできる

なにかをしてゆくのだ

「坂村真民詩集」より